



エコアクション21

認証番号0001276

エコアクション21 環境経営レポート

2022年度版(2021年10月～2022年9月)



株式会社カヨウコーポレーション

作成

2022年12月15日

環境経営方針

1. 基本理念

株式会社カヨウコーポレーションは、冷蔵庫、エアコン、エコキュート等の金属部品製造に関わる事業活動の中で、新しい「中期経営方針」（2021年度～2023年度）である『Positive Promoting（積極的な推進）』の最初に環境の保護を掲げ、環境経営システムを確立し、地球温暖化防止に努めていきます。

2. 基本方針

- (1) 「エコアクション21」の規定に基づき、「環境経営システム」を確立して全従業員参加でその継続的な改善を行い、環境保全と汚染予防に努める。
- (2) 環境関連の法規制と条例及び当社が同意するその他の規制を遵守する。
- (3) 事業活動が、環境に与える負荷の中で、次の項目を重点活動項目として推進する。
 - a) 電気、燃料等、資源やエネルギーの使用量を低減し、地球温暖化防止対策として二酸化炭素排出量の削減を図る。
 - b) 廃棄物の排出量を削減し、分別を徹底、再資源化を推進する。
 - c) 水資源の有効活用を図り、水使用量の削減を推進する。
 - d) 製造品の環境負荷低減を図るため、原材料の歩留まり率の向上を推進する。
製造工程で使用している副資材としての化学物質の削減を図る。
 - f) 地域の環境保全活動に積極的に参画し、社会との調和に努める。
- (4) この環境経営方針を全従業員に周知すると共に、一般に公開する。

2007年10月1日 制定

2020年10月1日 改訂（第7版）

株式会社カヨウコーポレーション

代表取締役 鹿養 和良

II. 事業の概要

1. 事業所名及び代表者名

株式会社 カヨウコーポレーション
代表取締役社長 鹿養 和良

2. 所在地

〒426-0063 藤枝市青南町4丁目21番15号

3. 環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者 : 取締役工場長 増井 信章
担当者 : 総務課 須田 満
連絡先 : TEL 054-635-2247
FAX 054-635-7449
Email suda@kayo-co.jp

4. 事業の内容

冷蔵庫・冷凍・空調機用熱交換器、パイプ特殊加工品、アキュムレータ
各種試験装置、冷熱ユニット製品等の製造販売

5. 事業の規模

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	百万円	2,263	2,479	3,069
従業員	人	132	139	152
床面積	m ²	6,813	6,813	6,813



6. 敷地概要

- ◎都市計画法での用途地域指定：市街化調整区域
- ◎静岡県生活環境の保全等に関する条例での地域指定
 - ・騒音：第2種区域
 - ・振動：第1種区域・2
 - ・悪臭：E区域
 - ・水質：志太水域



7. 認証・登録の範囲

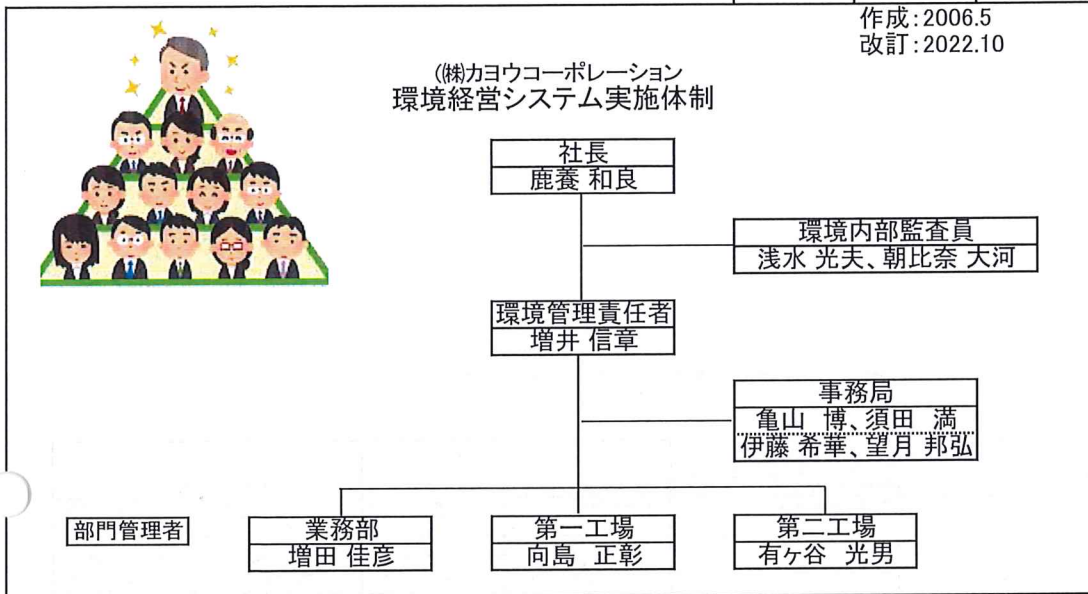
対象組織：株式会社カヨウコーポレーション 本社・工場

対象活動：冷蔵庫・冷凍・空調機部品製造

8. 実施体制の構築

(1) 環境経営システムを運用・実施する実施体制を構築する。

承認	検認	作成
鹿養	増井	望月



(2) 実施体制における、各自の役割・責任及び権限を以下の通り定める。

①社長

- ・環境経営システムの構築並びに見直し
- ・環境管理責任者の任命
- ・環境内部監査員の任命
- ・環境経営方針・環境経営目標の決定並びに見直し
- ・環境経営計画の承認
- ・環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・設備・資金等)の準備
- ・緊急事態発生時の統括
- ・代表による経営における課題とチャンスの明確化
- ・効率的な実施体制の構築と全従業員への周知

②環境管理責任者

- ・環境経営システムを確立し、実施・維持管理を継続的に運用
- ・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の立案
- ・環境経営計画の推進状況把握と社長への報告
- ・該当環境関連法規等の把握と管理
- ・環境経営システムに関する規定類の整備
- ・環境関連教育、訓練の計画策定と統括
- ・緊急事態発生時の対応実施と報告
- ・問題点発生に対する是正及び予防措置の対応指導
- ・社長による環境経営システムの見直しのための情報を提供

③環境内部監査員

- ・環境経営システム全体の運用・取組み状況の確認及び評価
- ・環境経営目標、環境経営計画の推進状況の確認
- ・環境への取組及びシステムの評価

④部門管理者

- ・環境経営計画の推進と必要とする資源の準備
- ・該当環境関連法規等の遵守状況把握
- ・環境教育・訓練の実施
- ・緊急事態及び問題点が発生した場合、その処置と是正並びに予防処置の実施と報告
- ・運用管理、監視・測定、記録管理

⑤全従業者

- ・環境問題の現状やエコアクション21における環境への取組意義の理解
- ・環境経営目標及び環境経営計画の推進
- ・緊急事態発生時の対応
- ・社会貢献活動への積極的参加

2. 環境への負荷の状況 (取りまとめ表)

○ 本取りまとめ表は、「3. エネルギー使用量」「4. 一般廃棄物排出量」「5. 産業廃棄物排出量」「6. 水使用量」「7. 化学物質使用量」を一表に取りまとめたもので、各表の黄色のセルの合計値が自動で入力されるよう設定しています。
 (黄色のセルは自動で入力されます)
 ○ 「排出負荷の項目となる主な活動・設備等」については、できる限り具体的に記述してください。
 ○ 本表内に前年度や基準年度等のデータを入力することにより、取組の効果を評価することができます。

	(2021年10月 ~ 2022年9月)					(2020年10月 ~ 2021年9月)					(2019年10月 ~ 2020年9月)						
	量	料金 (円)	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	割合	現場負荷の要因となる主な活動・設備等 (具体的に)	量	料金 (円)	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	割合	量	料金 (円)	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	割合				
エネルギー使用量	電力1 中部電力	1,258,507	kWh	26,837,949	738,744	73.6%	工場設備、空調設備、蛍光灯	1,176,977	kWh	16,945,865	690,885	68.9%	1,050,717	kWh	25,008,436	510,648	50.9%
	電力2		kWh						0				0	kWh			
	電力3		kWh						0				0	kWh			
	電力4		kWh						0				0	kWh			
	電力5		kWh						0				0	kWh			
	ガソリン	4,267	L	672,481	9,907	1.0%	フォークリフト、社用車	4,024	L	590,502	9,342	0.9%	4,751	L	689,091	11,029	1.1%
	軽油	10,534	L	1,392,389	27,230	2.7%	運送トラック4 t	10,741	L	1,280,994	27,764	2.8%	10,386	L	883,097	26,848	2.7%
	灯油	876	L	93,201	2,181	0.2%	暖房器具	12,675	L	1,014,350	31,554	3.1%	13,690	L	1,181,083	34,081	3.4%
	A重油		L						0				0	L	0	0	
	都市ガス		Nm ³						0				0	Nm ³	0	0	
	液化石油ガス (LPG)	75,112	kg	16,990,893	225,252	22.5%	ろう付けバーナー、乾洗機	74,528	kg	12,391,687	223,500	22.3%	67,652	kg	10,111,322	202,882	20.2%
	液化天然ガス (LNG)		kg						0				0	kg			
	合計 (エネルギー)			45,986,913	1,003,314	100.0%			32,223,398	983,045	98.0%		37,873,029	785,488	78.3%		
一般廃棄物排出量	22,539	kg	511,980			ダンボール、燃えるゴミ	18,354	kg	485,520			20,307	kg	309,600			
産業廃棄物排出量	17,240	kg	714,520				20,856	kg				12,855	kg				
中絶処理量	17,240	kg				汚泥、塵ブラ、木くず、廃油、鉛さい、安定型廃ブ	19,336	kg	855,715			11,265	kg	656,365			
うち再資源化量	17,240	kg					19,336	kg				11,265	kg				
最終処分 (埋立) 量		kg					1,520	kg				1,590	kg				
中絶処理量		kg						kg					kg				
うち再資源化量		kg						kg	0				kg				
最終処分 (埋立) 量		kg						kg					kg				
上水	0	m ³	61,176				0	m ³	0			0	m ³	61,176			
工業用水		m ³						m ³	0				m ³				
地下水	27,110	m ³	0					m ³	0				m ³				
キシレン	2,532	kg				ろう付け冷却水、製品洗浄機、手洗い	24,241	m ³	0			25,427	m ³				
エチルベンゼン	2,349	kg				塗料、シンナー	2,306	kg				1,431	kg				
1,3,5-トリメチルベンゼン	280	kg				塗料、シンナー	2,139	kg				1,328	kg				
1,2,4-トリメチルベンゼン	416	kg				シンナー	245	kg				145	kg				
ホルムアルデヒド	136	kg				塗料、シンナー	376	kg				231	kg				
フメン	71	kg				塗料	131	kg				86	kg				
						シンナー	71	kg				71	kg				

Ⅲ. 中期環境経営目標推進表

1. 環境経営目標と実績

2022年度の取り組みは、2021年10月から2022年9月まで1年間の取り組みである。
目標の設定に当たっては、現状にあった実績である2018年度実績を基準とする。

注1、原単位値の算出方法：環境経営目標項目の実績値/就労時間

注2、各環境経営目標項目の原単位実績値を算出する時に用いる原単位時間は、
ベンチマーク(2018年度)：241,296(時間)、2022年度：240,819(時間)である。




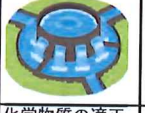

注3、購入電力の二酸化炭素排出係数は、鈴与でんき㈱2018年度 0.587kg-CO₂/Kwhを使用。

環境経営目標項目	推進部門	数値 単位	ベンチ マーク	環境経営目標値			備考		
				2021年度 削減目標-1%	2022年度 削減目標-2%	2023年度 削減目標-3%			
二酸化炭素排出量削減	全部門	絶対値 Kg-CO ₂	目標値	2018年度	972,889	963,062	953,235		
			実績値	982,716	+ 0.0%	+ 2.1%	- 100.0%		
		原単位 Kg-CO ₂ /H	目標値	2018年度	4.03	3.99	3.95		
			実績値	4.07	+ 10.5%	+ 2.4%	- 100.0%		
		電力消費量の削減	全部門	絶対値 Kwh	目標値	2018年度	1,264,378	1,251,606	1,238,835
					実績値	1,277,149	- 7.8%	- 1.5%	- 100.0%
化石燃料消費量の削減(ガソリン)	管理部	絶対値 L	目標値	2018年度	7,026	6,955	6,884		
			実績値	7,097	- 43.3%	- 39.9%	- 100.0%		
化石燃料消費量の削減(灯油)	管理部	絶対値 L	目標値	2018年度	15,158	15,005	14,852		
			実績値	15,311	- 17.2%	- 94.3%	- 100.0%		
化石燃料消費量の削減(LPG)	製造部	絶対値 kg	目標値	2018年度	49,266	48,769	48,271		
			実績値	49,764	+ 49.8%	+ 50.9%	- 100.0%		
化石燃料消費量の削減(軽油)	管理部	絶対値 L	目標値	2018年度	10,943	10,833	10,722		
			実績値	11,054	- 2.8%	- 4.7%	- 100.0%		
一般廃棄物排出量削減	全部門	絶対値 t	目標値	2018年度	26.80	26.53	26.26		
			実績値	27.07	- 32.2%	- 16.7%	- 100.0%		
1. 紙類の分別と再資源化	全部門	再成率 %	目標値	2018年度	5.40	5.46	5.51		
			実績値	5.35	+ 52.7%	+ 21.3%	+ 100.0%		
2. 段ボール排出量の削減	全部門	絶対値 t	目標値	2018年度	21.384	21.17	20.95		
			実績値	21.60	- 35.6%	- 15.3%	- 100.0%		
産業廃棄物排出量削減	全部門	絶対値 t	目標値	2018年度	18.34	18.16	17.97		
			実績値	18.53	+ 12.5%	- 7.0%	- 100.0%		
3. 廃プラの分別と再資源化	全部門	再成率 %	目標値	2018年度	54.3	54.9	55.4		
			実績値	53.80	+ 0.0%	+ 58.9%	+ 100.0%		
水使用量削減	全部門	絶対値 m ³	目標値	2018年度	23,636	23,398	23,159		
			実績値	23,875	+ 1.5%	+ 13.5%	- 100.0%		
化学物質使用量の削減 化学物質の適正管理	全部門	適正管理	適正管理		適正管理	適正管理			
			適正管理		適正管理	適正管理			
製品・サービスにおける環境配慮 ・銅スクラップの削減	全部門	銅スクラップ 絶対値 kg	目標値	2018年度	7,181	6,803	6,425		
			実績値	7,559	+ 57.6%	+ 15.8%	- 100.0%		

※ 弊社は10月～9月を事業年度としています。
※ 各環境経営目標項目の原単位で使用している

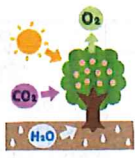
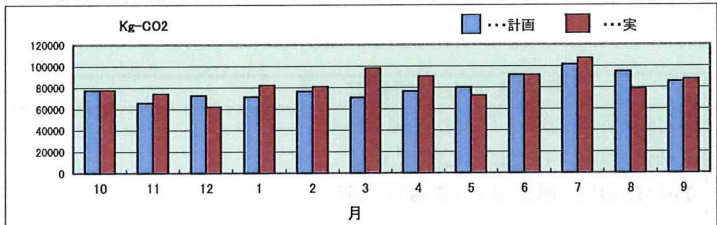

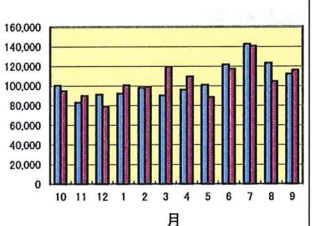

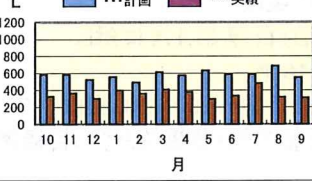

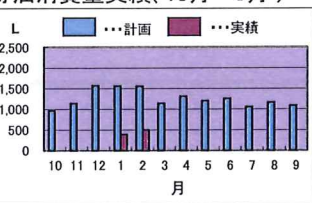

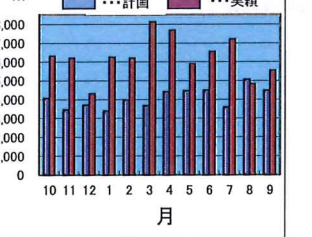
VII. 環境経営活動計画のテーマ推進表


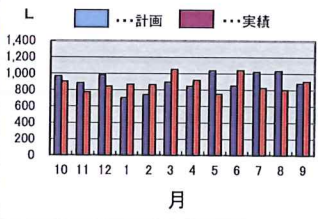
2022年度（2021年10月～2022年9月）環境経営活動計画


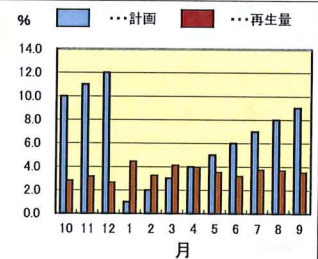

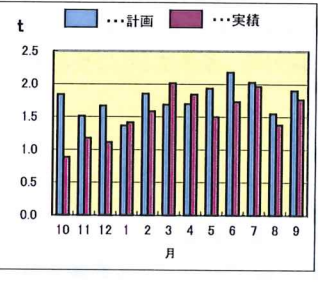

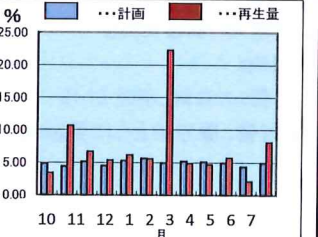
大分類	活動テーマ	具体的テーマ	活動内容	担当	スケジュール												
					10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
I. 二酸化炭素排出量削減	電力消費量削減 	A 空調機(エアコン)	エアコンの適正稼働時間・温度設定管理の励行。省エネタイプのエアコンに随時更新(第1製造部)	井藤	計画	←----- エアコン使用期間 -----> パッケージエアコン新規更新予定 ←----- エアコン使用期間 ----->											
		B 照明	材料倉庫水銀灯廃止、省エネタイプLED照明灯に随時変更(第1工場)。	塚本	計画	←----->											
		C 生産設備及び空調設備の省エネ	塗装層・乾燥炉更新に向けた生産性、品質向上と省エネ化(アキューム班設備)	浅水	計画	←----- 新設備更新による消費電力・ガスの運用ルール化 ----->											
			スマートクロックの活用により設備ON/OFFごまめな切換えによる電力使用量削減への取組	須田	計画	←----- 契約電力の引下げに向けた取組 ----->											
		D 時間外労働時間の短縮による電力使用量の削減	働き方改革関連法による生産性改善の強化と改善提案制度推進、報奨制度の見直し(全職場) 20年度22件実績	増井	計画	←----- 三菱電機機と連携し作業改善を進めて行く ----->											
	化石燃料使用量削減 	A ガソリン使用量の削減	ハイブリッド車の使用励行によりガソリン使用量を削減。アイドリングストップ運動の実施	増田	計画	←----- 新型ハイブリッド車更新使用中 ----->											
		B 灯油使用量の削減	灯油ストーブ使用の節約	相馬	計画	←----->											
			灯油ストーブからエアコン暖房への変更と適正使用管理の徹底	相馬	計画	←----->											
		C LPG使用量の削減	溶接バーナーの適正火力での使用と種火消火の徹底	清水	計画	←----->											
			適正作業人員の調整により空溶接時間の短縮とガスセーバーによる効率化ロボット・自動溶接機の活用	塚本	計画	←----->											
		D 軽油使用量の削減	運搬方法の見直しによる運搬使用回数の削減	増田	計画	←----->											
		II. 廃棄物排出量削減 	A 一般ゴミの削減及び紙の再資源化	私物ゴミ持ち帰りの呼びかけと再使用・リサイクル・一般ゴミ分別(3種類)	須田	計画	←----->										
実行	須田			実行	←----->												
B 廃プラの削減及び再資源化	ビニール類の分別(3種類)		須田	計画	←----- 廃棄ゴミ控再利用 ----->												
	社内再利用・リサイクル・廃プラ		須田	実行	←----->												
C 段ボール排出量の削減	段ボール箱の再利用と通い箱検討		本田	計画	←----->												
D 木クズの削減	パレットの再利用事業所への推進。納入業者への返却依頼。		増田	計画	←----- 他社企業への再利用依頼 ----->												
E 分別処理の推進	廃棄物置き場の整理整頓 分別廃棄の徹底		須田	計画	←----->												
F 印刷物の削減	ペーパーレスを目的としたプロジェクト・テレビの使用による印刷物の削減。Web会議を中心とした取組	亀山	計画	←----- Web会議の推進 ----->													
III. 排水量削減 	A 節水の励行と漏水対策	現場巡視による水漏れ調査と補修工事	塚本	計画	←----->												
		溶接冷却水循環方式の推進	井藤	計画	←----->												
IV. 化学物質使用量削減 	A 化学物質管理の徹底と見直し	化学物質管理規定の運用見直し(購入ルール、保管方法)	長田	計画	←----->												
		実行	浅水	実行	←----->												
B 塗料、シンナーの管理	使用量の再確認と保管方法の見直し 塗装層新規更新による適正使用料の確認	浅水	計画	←----->													
	実行	浅水	実行	←----->													
V. 製品・サービスにおける環境配慮	銅管の歩留まり率の向上	A 銅スクラップの削減	工程内不良の削減。	秋山	計画	←----->											
実行	秋山	実行	△ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △														
VII. 社会貢献活動への取組	地域美化による社会貢献	A 地域美化運動実施	まち美化里親制度実施。 工場周辺の美化運動。	須田	計画	←----- 公園 -----> ←----- 工場 -----> ←----- 公園 -----> ←----- 公園 ----->											
					実行	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○											


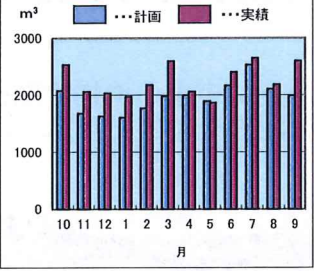
V. 環境活動の取組結果の評価



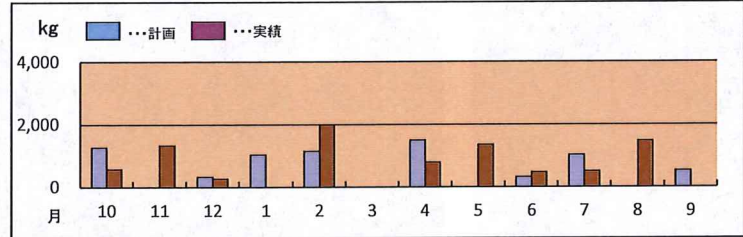

1. 結果と評価

取組項目	年度目標	現在までの取組結果	評価
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量 基準年に対し 2022年度2%削減	絶対値: 目標 963,062Kg-CO ² に対し実績 1,003,314kg-CO ² 原単位: 目標 3.99 に対し実績 4.17 寸評: 絶対値、原単位ともに目標未達成。 二酸化炭素排出量実績(10月～9月)	(評価△) 自動ろう付け機増設に伴いLPGガス消費量が増加した影響が大きかった。使用量自体は適正である。(次年度より2022実績を基に目標再設定)
			
電力消費量の削減	電力消費量 基準年に対し 2022年度2%削減	電力消費量実績(10月～9月) Kwh 取組の実績 ＜電気使用量の削減＞ 絶対値: 目標値 1,251,606Kwhに対し 実績 1,258,507Kwh 原単位: 目標 5.18に対し実績 5.23 寸評: 絶対値、原単位ともに未達成。	(評価△) 2018年時より、売上、稼働時間ともに少し増えた為、絶対値、原単位ともに未達成。今後は電気料金の値上げもある為、節電対策を進めていきたい
			
ガソリン消費量の削減	ガソリン消費量 基準年に対し 2022年度2%削減	ガソリン消費量実績(10月～9月) L 取組の実績 ＜ガソリン消費量の削減＞ 絶対値: 目標6,955L に対し実績 4,267L 原単位: 目標 2.88 に対し実績 1.77 寸評: 絶対値、原単位ともに目標達成。	(評価○) 昨年に引き続き、新型コロナの影響で、出張の回数が大幅に減少した影響が大きい。
			
灯油消費量の削減	灯油消費量 基準年に対し 2022年度2%削減	灯油消費量実績(10月～9月) L 取組の実績 ＜灯油消費量の削減＞ 絶対値: 目標 15,005L に対し実績 876L 原単位: 目標 6.22に対し実績 0.36 寸評: 絶対値、原単位ともに目標達成。	(評価○) 昨年に引き続き、洗浄機更新の効果で灯油消費量が減少している。ポイラーも2021年8月に更新したため、さらに削減できました
			
LPG消費量の削減	LPG消費量 基準年に対し 2022年度2%削減	LPG消費量実績(10月～9月) m ³ 取組の実績 ＜LPG消費量の削減＞ 絶対値: 目標 48,769kg に対し 実績 75,112kg 原単位: 目標9.76に対し実績 31.19 寸評: 絶対値、原単位ともに目標未達成。	(評価△) 2018年時と比較し洗浄機がガス洗浄機に変更したのが目標未達成の原因である。さらにポイラーも更新し、灯油からガス使用に変わった。自動ろう付け機増設もあったが使用量自体は適正の範囲内である。
			

<p>軽油消費量 基準年に対し 2022年度2%削減</p> 	<p>軽油消費量実績(10月～9月)</p> <p>L</p> 	<p>取組の実績 ＜軽油消費量の削減＞ 絶対値:目標 10.833Lに対し 実績 10.534L 原単位:目標 4.49 に対し実績 4.37 寸評:絶対値、原単位目標達成。</p>	<p>(評価○) 2018年時より、売上、稼働時間ともに少し増えたが、トラックを1台更新したこともあり、絶対値、原単位目標達成。</p>
--	---	---	--

取組項目	年度目標	現在までの取組結果		評価
<p>一般廃棄物 排出量の削減</p> <p>2022年度2%削減</p>	<p>廃棄物の削減 基準年に対し 2022年度2%削減</p>	<p>絶対値:目標 26.53t に対し実績 22.54t 原単位:目標 11.00 に対し実績 9.36 寸評:絶対値、原単位ともに目標達成。</p>		<p>(評価○) 一般廃棄物が減少しており、今後も削減努力を継続していく。</p>
<p>紙類の再生率 基準年に対し 2022年度2%削減</p> 	<p>紙類の再生率 基準年に対し 2022年度2%削減</p>	<p>一般ゴミの処理量と紙の再生量の 実績(10月～9月)</p> 	<p>取組の実績 再生率:目標 5.46% に対し実績 4.21% 寸評:目標未達成。</p>	<p>(評価△) IT化の推進により、書類のデータ化が増えたことにより、紙ごみの量が大きく減少したため。目標達成には至らなかった</p>
<p>ダンボール排出量 基準年に対し 2022年度2%削減</p> 	<p>ダンボール排出量 基準年に対し 2022年度2%削減</p>	<p>ダンボール排出量実績(10月～9月)</p> 	<p>取組の実績 絶対値:目標 21.17t に対し 実績 18.3t 原単位:目標 8.8 に対し実績 7.6 寸評:絶対値・原単位ともに目標達成。</p>	<p>(評価○) ダンボール再利用の励行により、目標が達成出来た。</p>
<p>産業廃棄物 排出量の削減</p> <p>2022年度2%削減</p>	<p>廃棄物の削減 基準年に対し 2022年度2%削減</p>	<p>絶対値:目標 18.16t に対し実績 17.24t 原単位:目標 7.53 に対し実績 7.16 寸評:絶対値、原単位ともに目標達成。</p>		<p>(評価○) 長年処理できなかった鉋さいを処理を昨年おこなった為、今年は廃棄物が少なかったため。</p>
<p>廃プラの再生率 基準年に対し 2022年度2%削減</p> 	<p>廃プラの再生率 基準年に対し 2022年度2%削減</p>	<p>廃プラの処理量と再生量の 実績(10月～9月)</p> 	<p>取組の実績 再生率:目標 54.9% に対し実績 85.5% 寸評:目標達成。</p>	<p>(評価○) 社内の5S活動により、社員のゴミ分別意識向上により目標達成。</p>

<p>水使用量の削減</p>	<p>水使用量 基準年に対し 2022年度2%削減</p> 	<p>水使用量実績(10月～9月)</p> 	<p>取組の実績 <水の使用量の削減> 絶対値: 目標 23.398m³ に対し 実績: 27.110m³ 原単位: 目標 9.70 に対し実績 11.26 寸評: 絶対値・原単位ともに目標未達成。</p>	<p>(評価△) 目標値未達成は生産数増加による。原単位未達成は労働時間減少の影響が大きかった。</p>
----------------	---	---	---	--

取組項目	年度目標	現在までの取組結果		評価
<p>化学物質使用量の削減</p>	<p>化学物質の適正管理</p> 	<p>取組の実績 ・危険物倉庫の整理、整頓の実施</p>		<p>(評価○) 化学薬品の管理の徹底により、使用量の適正化になった。</p>
<p>銅管歩止まり率の向上</p>	<p>銅スクラップ 基準年に対し 2022年度10%削減</p> 	<p>絶対値: 目標 6,803kg に対し実績 8,754kg 寸評: 絶対値目標未達成</p> <p>銅スクラップ実績(10月～9月)</p> 		<p>(評価△) 社内の5S活動などにより、長期在庫の処分をおこなったためスクラップが増加した。</p>
<p>地域美化による社会貢献</p>	<p>地域美化運動実施</p> 	<p>美化運動の実績 工場周辺の清掃、草取り 2021/12/25・2022/8/10 実施 藤枝市青南町ふれあい広場の清掃 2021.11.21 2022/5/22・7/17・9/25実施 ※「2、社会貢献活動への取組み」参照</p>		<p>(評価○) 工場周辺の清掃及び、青南町ふれあい広場の美化活動を実施した。</p>



社会貢献活動への取組み

～地域美化運動実施～



本年度も藤枝市の地域まち美化運動に参加し、青南町ふれあい広場の清掃活動を地域自治体の方々と実施しました。その他、例年通り会社周辺の清掃と花壇の植え替えを行いました。



工場周辺の清掃活動(①2021/12/25 ②2022/8/10)



青南町ふれあい広場の清掃(①2021/11/21 ②2022/5/18 ③7/17 ④9/25)

VI. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

(1) 当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

遵守確認日: R4.9.30

作成者: 望月

検認者: 増井

	該当法規	該当事項	遵守事項	遵守状況
1	・水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設の届出 ・排水基準の遵守 排水基準 (平均/最大) ・pH 5.8~8.6 ・SS 40/50 ・BOD 20/25 ・銅含有量 3	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設 (酸又はアルカリによる表面処理施設) ①浸漬洗浄処理 2基 ②スプレー式汎用洗浄機 3基 ・排水基準 ①静岡県条例の上乗せ基準 志太水域の基準 ②廃水処理設備(凝集沈殿方式)で 処理 ③排水水質測定 2回/年 実施 	遵守
2	・浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・設置届出 ・浄化槽の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽 4基 50人槽 40人槽 18人槽 1基使用無し ・管理事項 ①11条検査 1回/年 ②保守点検 4回/年 ③浄化槽の清掃 1~2回/年 	遵守
3	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音規制法 ・静岡県生活環境の保全等に関する条例 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設の届出 ・規制基準の遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設 ①空気圧縮機 4台 ・規制基準 ①第2種区域の規制基準 	遵守
4	<ul style="list-style-type: none"> ・振動規制法 ・静岡県生活環境の保全等に関する条例 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設の届出 ・規制基準の遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設 ①空気圧縮機 4台 ②せん断機 1台 ・規制基準 ①第1種区域の2の規制基準 	遵守
5	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法) ・静岡県産業廃棄物の適正処理に関する条例 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物収集運搬許可業者及び廃棄物処理許可業者との委託契約 ・特別管理産業廃棄物管理責任者の設置 ・保管基準の遵守 ・マニフェストの管理 ・産業廃棄物管理責任者の設置 ・産業廃棄物処理委託先の実地確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約業者 ①収集運搬業者 2社 ②処理業者 7社 ・管理責任者 亀山部長 ・産業廃棄物置場の表示等 ・返送伝票(A. B2. D. E)の管理 ・伝票の5年間保管 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 毎年度6月30日までに提出 ・管理責任者 須田課長 ・実地確認 1回/年 実施 ・記録 5年間保管 	遵守

	該当法規	該当事項	遵守事項	遵守状況
6	・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の促進に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・第1種指定化学物質の排出量及び移動量の把握と届出(PRTR制度) ・第1種指定化学物質、第2種指定化学物質のSDSの管理(SDS制度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度6月30日までに届出 ・現場に掲示 	遵守
7	・高圧ガス保安法	<ul style="list-style-type: none"> ・貯蔵施設の届出 ・定期自主検査 ・保安責任者 ・保安教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・東海溶材(株)届出 <ul style="list-style-type: none"> ①液化酸素タンク ②液化窒素タンク ・巻田油業(株)届出 <ul style="list-style-type: none"> ①LPGタンク ・(株)シンワ届出 <ul style="list-style-type: none"> ①LPGタンク ・各所有業者が実施 2回/年 ・増井工場長 ・3回/年実施 	遵守
8	・フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・第一種特定製品の管理 ・第一種特定製品の廃棄 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての第一種特定製品(冷媒としてフロン類が使用されているもの)簡易点検の実施 1回/3ヶ月 ・電動機定格出力7.5kw以上50kw未満のエアコン定期点検の実施 1回/3年 ・回収依頼書・引取証明書・機器の点検記録簿の保管(機器廃棄後3年間保存) 	遵守
9	・静岡県地下水の採取に関する条例(大井川規制・適正化地域)	<ul style="list-style-type: none"> ・揚水設備設置の届出 ・水量測定器の設置及び地下水採取量等報告書提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者コード 3189 揚水設備の番号 GW-152-25116 ・毎年度2月に報告書提出 	遵守

(1) 更新時期






毎年9月末に実施します。

(2) 訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も3年間ありませんでした。

VII. 環境経営活動計画のテーマ推進表

2023年度（2022年10月～2023年9月）環境経営活動計画

大分類	活動テーマ	具体的テーマ	活動内容	担当	スケジュール													
					10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
I. 二酸化炭素排出量削減	電力消費量削減 	A 空調機(エアコン)	エアコンの適正稼働時間・温度設定管理の励行。省エネタイプのエアコンに随時更新(第一製造部)	井藤	計画	←----->			←----->									
		B 照明	水銀灯・蛍光灯を随時LED省エネタイプに変更(第一製造部・第二製造部)	塚本	計画	←----->												
		C 生産設備及び空調設備の省エネ	職場環境改善対応として送風機・エアコンによる省エネ化(暑さ対策含む)	浅水	計画	←----->												
			スマートクロックの活用により設備ON/OFFこまめな切換えによる電力使用量削減への取組	須田	計画	←----->												
	D 時間外労働時間の短縮による電力使用量の削減	働き方改革関連法による生産性改善の強化と改善提案制度推進、報奨制度の見直し(全職場) 20年度22件実績	増井	計画	←----->													
	化石燃料使用量削減 	A ガソリン使用量の削減	トラック・フォークリフトのアイドリングストップ巡視強化	増田	計画	←----->												
		B 灯油使用量の削減	灯油ストーブ使用の節約	相馬	計画	←----->												
		C LPG使用量の削減	溶接バーナーの適正火力での使用と種火消火の徹底	清水	計画	←----->												
			適正作業人員の調整により空溶接時間の短縮とガスセーバーによる効率化 ロボット・自動溶接機の活用	塚本	計画	←----->												
		D 軽油使用量の削減	運搬方法の見直しによる運搬使用回数の削減	増田	計画	←----->												
		II. 廃棄物排出量削減 	A 一般ゴミの削減及び紙の資源化	私物ゴミ持ち帰りの呼びかけと再使用・リサイクル・一般ゴミ分別(3種類)	須田	計画	←----->											
			B 廃プラの削減及び再資源化	ビニール類の分別(3種類) 社内再利用・リサイクル・廃プラ	須田	計画	←----->											
C 段ボール排出量の削減			段ボール箱の再利用と通い箱検討	本田	計画	←----->												
D 木クズの削減	パレットの再利用事業所への推進。 納入業者への返却依頼。		増田	計画	←----->													
E 分別処理の推進	廃棄物置き場の整理整頓 分別廃棄の徹底		須田	計画	←----->													
F 印刷物の削減	ペーパーレスを目的としたプロジェクト・テレビの使用による印刷物の削減。Web会議を中心とした取組		亀山	計画	←----->													
III. 排水量削減 	A 節水の励行と漏水対策	現場巡視による水漏れ調査と補修工事	塚本	計画	←----->													
		溶接冷却水循環方式の推進	井藤	計画	←----->													
IV. 化学物質使用量削減 	A 化学物質管理の徹底と見直し	化学物質管理規定の運用見直し(購入ルール、保管方法)	秋山	計画	←----->													
		塗料、シンナーの管理	使用量の再確認と保管方法の見直し 塗装層新規更新による適正使用料の確認	浅水	計画	←----->												
V. 製品・サービスにおける環境配慮	銅管の歩留まり率の向上	A 銅スクラップの削減	段取り不良 工程内不良の削減	秋山	計画	←----->												
VII. 社会貢献活動への取組	地域美化による社会貢献	A 地域美化運動実施	まち美化里親制度実施。 工場周辺の美化運動。	須田	計画	←----->		←----->		←----->		←----->		←----->		←----->		
			工場	公園	工場	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園	公園	

代表者による全体の評価及び見直し

株式会社カヨウコーポレーション
代表取締役 鹿養 和良

(活動期間 2021年10月 ~ 2022年9月)

1. 全体の評価

作成 2022年12月18日

65期からの中期経営方針”Positive Promoting”「積極的な推進」2年目の本年は前年に引き続き「環境保護の積極的な推進」に取り組んだ。省エネ化のための設備更新、照明のLED化による電力使用量削減を実施し、二酸化炭素排出量は目標を達成することができた。以前からの課題であった電力使用量の削減については一定の効果があり、目標値には届かなかったものの、ここ数年と比べると電力消費の効率化は進んできた。エネルギー価格上昇の影響も出てきており、今後も課題として取り組んでいきたい。また、銅・鉄の市場価格が高騰して高止まりしている状況であり、スクラップ削減対策を重点的に取り組んでいく。

2. 見直しおよび変更指示

項 目	評 価
環境経営方針	第65期からの中期経営方針”Positive Promoting”「積極的な推進」に沿って、環境負荷の低減を図った。
環境経営目標	二酸化炭素排出量は減少し目標達成した。設備更新により灯油使用量が減少し、LPG使用量が増加したものの、二酸化炭素排出量の削減に効果があった。
環境経営活動計画	環境経営活動の各テーマを全従業員で推進させ、「環境保護」の方法を改善し、地域社会に貢献するようにした。
環境経営システム	環境負荷低減のための原材料在庫・発注管理及び仕掛品削減の徹底、歩留まりの改善・工程内不良削減へ向けての社内教育を強化し、環境負荷の低減を図る。
実施体制	現状に対し問題なし

<全体評価のための個別評価>

項 目	評 価
環境への負荷の自己チェック	LPG使用量が増加する結果となったが、更新した塗装前洗浄機、ボイラーの影響と思われる。その代わりに、灯油と電力使用量は減少し、二酸化炭素排出量削減に貢献した。
環境への取組の自己チェック	省エネルギー項目の重要度を上げて、照明のLED化と設備更新に取り組み、省エネ効果が表れた。引き続き省エネへの取組を強化していく。
環境経営目標達成状況	一般廃棄物処分量は年々減少してきている。銅スクラップは社内5S活動による長期在庫を処分した影響があった。銅の価格が高騰しており、スクラップ減少が課題である。
環境経営活動計画の達成状況	昨年に引き続き蛍光灯からLEDランプへの切替を行い、新規設備の更新・導入も行い、灯油使用量を削減することで省エネ効果を出すことができた。引き続き省エネの対策を進めていく。
該当環境関連法規等の遵守および制定・改廃状況	当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、特に問題はなかった。
教育・訓練の実施状況	新型コロナの影響で毎年度実施している避難訓練はできなかったが、緊急事態対応訓練を実施した。
外部とのコミュニケーションの状況	今期は近隣住民からの苦情はなかった。今期も新型コロナの影響があったが、藤枝市の「地域まち美化運動」に参加した。
規定類、手順書等の関連文書および関連記録の最新版管理の状況	エコアクション21 ガイドライン2017年版に沿って、関連文書の改訂を随時行っていく。